

挑戦とは 成長

強い意志が
運命を変える

静岡県立小山高等学校

令和7年12月22日(月)発行



← 学年レク実行委員

3年間で培った企画力・運営力を発揮！！

冬が始まる小山高校に、「熱気」を生み出した！！



前向きな姿勢が、成功を生み出す！

エンドロールではこれから受験する仲間を応援するメッセージが。実行委員おつかれさま！

「大丈夫。私はできる。」

運命の女神は、強い意志を持つ者を助ける

「自分を信じる」と書いて「自信」。この冬に、自分を信じられるくらいやる

わたしは、はっきりと言う。消極的であるよりは積極的である方が良いと断言する。なぜなら、運命の神は女神なのだから、女神を自分の味方につけようと思うなら、積極的にそして前向きに行動することが必要なのだ。運命はいつも後ろ向きで消極的な者よりも、何としてでも自分の希望を叶えたいという強い意志を明確に持つ者のほうになびくようである。つまり、運命というものは、君たちのような若者の友である。若者はいつも、がむしゃらで、果敢に高い壁を乗り越えようと挑戦し、自分の希望を実現するために一所懸命で、そして楽しむ力があるからである。

(マキャヴェリ『君主論』「運命の女神(フォルトゥーナ)について」)

総合型・学校推薦型入試の合否結果が出てきており、多くの生徒が第一志望の大学に合格しています。早くから準備に取り掛かり、粘り強く小論文対策や面接練習に取り組んできた証だと思います。一方で、今年の3年生は、難関大学を志望し、一般受験に挑戦する生徒が多いことも特徴です。模試の結果を見ますと、2学期に入り成績が徐々にではありますが伸びてきています。周囲の友達が次々と合格し、不安や焦りも募る時期かと思いますが、一般受験に挑むみなさんは、それだけで「大きな成長の経験」をしています。自分を信じて、最後まで強い気持ちで、試験に臨んでもらいたいと思います。

「運命の女神」は、一所懸命に挑戦するみなさんの隣にいます。受験を成長の機会にしましょう。

地域で輝く小山高生

今年本校から4名の生徒が、地元小山町行政職と御殿場市・小山町の消防士試験に挑戦し、4名全員が合格しました。彼らは、部活動と勉強の両立に3年間励み、計画的に受験準備を進めてきました。地元で優秀な人材を輩出し、地域の発展につなげていくことは、静岡県立小山高等学校の使命でもあります。これからも、北駿地域を愛し、自分の生まれ育った地にこれまでの学びを還元しようと公務員を志望する生徒を小山高校は応援していきます。*左から：土屋佳大さん、梶原弘輝さん、宮本美貴子さん（御殿場・小山消防）、瀬戸絢葉さん（小山町一般行政職）



大学入学共通テストまでの道のり —残り1か月の勝負の仕方—

	12月中 (12月22日～31日まで10日間)	1月以降 (1月1日～1月16日まで16日間)
目的	初見の問題に対して、冷静に思考して、正解をすばやく導く学力（武器・魔法）を増やす 学力向上期	自分の持つ知識や思考力を的確に使いこなす 学力定着期
実践	過去問や演習問題など、初見の問題を本番設定（もしくは時間8割）で解答。解説を確認したり、知識を吸収したりして、自分のできることを増やすことに時間をかける。 (武器と魔法をできるだけ多くそろえる時期)	これまで取り組んできた共通テスト対策の模試、過去問、演習問題に再挑戦・確認する。また、まとめノートなど自分の知識を体系的・全体的に振り返ることに時間をかける。 (新しい武器・魔法を覚えるのではなく、今まで手に入れた武器・魔法を使いこなせるようにする時期)

受験が近づいてくると、これまでの模試でよい判定が出ている受験生でさえ、不安に駆られるものです。これは小山高生だけが感じているわけではなく、日本全国の受験生が、苦しい時間を経験しているのです。この状況の中で、目標だけを見て「今に徹する」ことができるのかが、安定して勉強に集中できる鍵になります。「今に徹する」ためには、「やるべきことを明確にしておく」ことが効果的です。「なにをすればいいんだろう？」と考えている時間こそがもったいないのです。

12月中は、大学入学共通テストに関する「初見の問題」を解きましょう。その際に、時間を設定し、「時間内に解き切る」「計画的に解く」ことを身に付ける必要があります。例えば、英語は大問8題で構成されますが、みなさんはどのように時間配分をしているのでしょうか？もっとも配点が高い（絶対に落とせない）問題は、どこにあるのでしょうか？こうした「戦略」を練ったうえで、「戦略」通りに問題が解けるようにならないと、いきあたりばったりで本番に臨むこととなります。一方、1月になったら、初見の問題を解くのではなく、これまでやってきた問題（特に間違えた問題）を中心に、学力を定着させていきたいです。1日1日の学習を大切に、自分と対話しながら、前進していきましょう。